

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社

コード番号 4619

URL <http://www.nttoryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 万喜夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務
業務本部長

(氏名) 田谷 純 (TEL) 03-3913-6134

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	31,835	11.0	1,895	109.7	3,878	52.9	3,050	40.5
27年3月期第3四半期	28,688	0.1	904	8.6	2,535	7.9	2,171	6.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,753百万円(△6.3%) 27年3月期第3四半期 2,937百万円(△34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	137.95	—
27年3月期第3四半期	98.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	56,062	33,925	57.5
27年3月期	53,428	31,385	56.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 32,258百万円 27年3月期 30,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,200	9.2	2,300	41.1	4,900	21.4	3,400	12.2	153.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	23,611,200株	27年3月期	23,611,200株
28年3月期3Q	1,500,476株	27年3月期	1,500,300株
28年3月期3Q	22,110,826株	27年3月期3Q	22,111,119株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成28年3月期の個別業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	3.5	3,200	20.3	2,350	16.3	105.89

（注）個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油安と米国経済の好調を背景に企業収益の改善、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の利上げ政策の今後の見通し、新興国経済への影響・下振れリスクや中近東諸国の宗教対立など、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、顧客ニーズに適応した製品開発と新規顧客の開拓など販売活動を強化するとともに、生産能力の増強、原価改善、生産性の向上など収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は国内外ともに需要が堅調に推移したことで318億3千5百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

損益面につきましては、売上増収に加えて生産性の向上、原材料価格の改善や固定費削減などの原価改善等により営業利益は18億9千5百万円（前年同期比109.7%増）、経常利益は持分法による投資利益等で38億7千8百万円（前年同期比52.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億5千万円（前年同期比40.5%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、企業収益の拡大を背景とした国内民間需要の増加、生産性の向上等により売上高及びセグメント利益は前年同期を大きく上回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は工場等の塗り替え需要増により前年同期比12.1%増加、防水用塗料についても前年同期比6.1%増加しました。

工事関連売上の集合住宅大規模改修工事は、工事物件受注増加により前年同期比33.3%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は118億4千7百万円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は5億1千2百万円（前年同期比85.4%増）となりました。

② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、乗用車生産台数が堅調に推移したことで国内外での受注の増加により、売上高及びセグメント利益は前年同期を大きく上回りました。

品種別売上高につきましては、新規受注の増加により、制振材は前年同期比17.4%増加、吸・遮音材についても前年同期比14.8%増加となりました。一方、防錆塗料は国内での受注減少により前年同期比5.6%減となりました。原材料輸出等のその他売上は、前年同期比8.5%増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は199億7千7百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は13億7千8百万円（前年同期比122.0%増）となりました。

③ その他

保険代理業の売上高は10百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ26億3千3百万円増加し、560億6千2百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加4億6千8百万円、受取手形及び売掛金の増加6億4千2百万円、有形固定資産の増加4億5百万円、投資有価証券の増加6億8千8百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9千3百万円増加し、221億3千6百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3億8千9百万円、短期借入金の増加7億8千4百万円、長期借入金の減少4億3千万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ25億3千9百万円増加し、339億2千5百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加27億3千9百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億5千1百万円、為替換算調整勘定の減少1億5千5百万円、非支配株主持分の増加3億2百万円によるものです。自己資本比率は1.3%増加し57.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、国内外で需要が堅調に推移しており、受注が拡大していることに加え、利益面では、原価改善効果や海外持分法適用関係会社の業績等を勘案し、以下のとおり業績予想を修正しております。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〔通期の連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,400	1,900	4,200	3,050	137.94
今回修正予想 (B)	43,200	2,300	4,900	3,400	153.77
増減額 (B-A)	800	400	700	350	—
増減率 (%)	1.9	21.1	16.7	11.5	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	39,570	1,629	4,036	3,029	137.00

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,733,429	5,201,515
受取手形及び売掛金	12,573,956	13,216,717
商品及び製品	1,330,939	1,336,953
仕掛品	381,801	367,683
原材料及び貯蔵品	1,018,349	973,368
繰延税金資産	355,681	357,616
その他	593,295	598,220
貸倒引当金	△6,904	△89,961
流動資産合計	20,980,548	21,962,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,961,523	3,875,193
機械装置及び運搬具(純額)	3,452,108	3,287,765
土地	3,373,793	3,373,793
建設仮勘定	889,020	1,506,813
その他(純額)	1,356,860	1,394,973
有形固定資産合計	13,033,307	13,438,539
無形固定資産		
その他	299,595	482,781
無形固定資産合計	299,595	482,781
投資その他の資産		
投資有価証券	17,177,599	17,865,686
長期貸付金	269,619	188,225
繰延税金資産	40,072	39,756
その他	1,641,621	2,104,101
貸倒引当金	△13,967	△19,091
投資その他の資産合計	19,114,944	20,178,678
固定資産合計	32,447,847	34,099,999
資産合計	53,428,396	56,062,113

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,121,735	9,511,590
短期借入金	1,876,668	2,661,458
リース債務	46,370	62,605
未払法人税等	256,458	306,156
役員賞与引当金	55,300	-
その他	3,892,712	3,416,206
流動負債合計	15,249,245	15,958,017
固定負債		
長期借入金	1,728,588	1,297,811
リース債務	123,082	168,319
退職給付に係る負債	3,997,966	3,924,217
繰延税金負債	910,512	756,325
その他	33,235	31,768
固定負債合計	6,793,385	6,178,442
負債合計	22,042,631	22,136,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753,085	4,753,085
資本剰余金	4,362,942	4,362,942
利益剰余金	15,292,556	18,032,143
自己株式	△496,536	△496,703
株主資本合計	23,912,047	26,651,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,874,913	4,523,911
為替換算調整勘定	1,246,390	1,090,914
退職給付に係る調整累計額	△11,956	△7,576
その他の包括利益累計額合計	6,109,347	5,607,248
非支配株主持分	1,364,370	1,666,937
純資産合計	31,385,764	33,925,653
負債純資産合計	53,428,396	56,062,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	28,688,997	31,835,435
売上原価	22,929,099	24,642,137
売上総利益	5,759,898	7,193,297
販売費及び一般管理費	4,855,816	5,297,487
営業利益	904,081	1,895,810
営業外収益		
受取利息	12,323	30,420
受取配当金	111,548	134,817
持分法による投資利益	1,422,270	1,900,395
その他	139,475	52,607
営業外収益合計	1,685,617	2,118,240
営業外費用		
支払利息	48,741	48,285
為替差損	-	63,254
その他	5,067	24,202
営業外費用合計	53,809	135,742
経常利益	2,535,889	3,878,308
特別利益		
固定資産売却益	2,908	15,452
受取保険金	5,667	7,183
投資有価証券売却益	-	31,001
特別利益合計	8,576	53,638
特別損失		
固定資産処分損	28,089	44,441
減損損失	-	89,115
貸倒引当金繰入額	-	82,929
特別損失合計	28,089	216,486
税金等調整前四半期純利益	2,516,376	3,715,459
法人税等	287,283	452,256
四半期純利益	2,229,093	3,263,203
非支配株主に帰属する四半期純利益	57,815	212,909
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,171,277	3,050,293

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,229,093	3,263,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	583,608	△345,762
為替換算調整勘定	△52,739	△15,794
退職給付に係る調整額	7,487	4,571
持分法適用会社に対する持分相当額	169,846	△152,629
その他の包括利益合計	708,203	△509,615
四半期包括利益	2,937,296	2,753,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,904,545	2,548,195
非支配株主に係る四半期包括利益	32,750	205,392

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,535,720	18,141,168	28,676,888	12,109	28,688,997	—	28,688,997
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,700	—	2,700	—	2,700	△2,700	—
計	10,538,420	18,141,168	28,679,588	12,109	28,691,697	△2,700	28,688,997
セグメント利益	276,712	621,055	897,768	6,313	904,081	—	904,081

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,847,202	19,977,604	31,824,806	10,628	31,835,435	—	31,835,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,700	—	2,700	—	2,700	△2,700	—
計	11,849,902	19,977,604	31,827,506	10,628	31,838,135	△2,700	31,835,435
セグメント利益	512,923	1,378,517	1,891,441	4,368	1,895,810	—	1,895,810

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

塗料関連事業及び自動車製品関連事業セグメントにおいて、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていない資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては塗料関連事業で44,557千円、自動車製品関連事業で44,557千円であります。